

登別小学校保護者 各位

登別市立登別小学校長  
上 渡 秀 一

保護者アンケート・児童アンケートの集計結果（後期）について

11月中旬から12月上旬にかけてWeb入力方式で行いました保護者アンケートに対しましては、多くの保護者の方にご協力をいただき誠にありがとうございました。集計結果がまとまりましたので、児童アンケート集計結果と合わせてお知らせいたします。

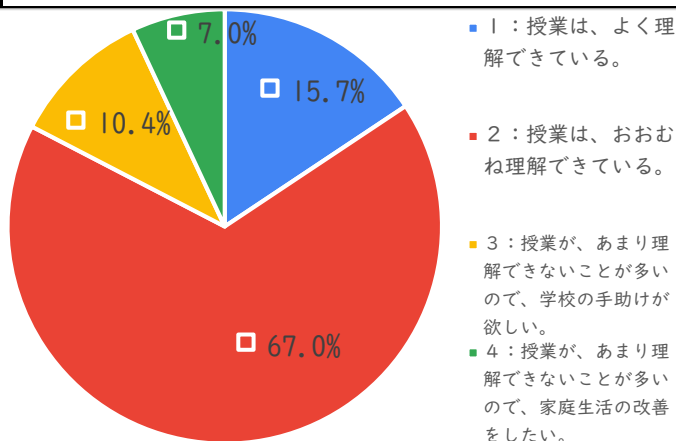
保護者アンケート

1、回答数 115 (87.1%) ※前回 123 (92.5%) ※前々回 124 (93.2%)  
※パーセンテージは、児童数を100と見た時の回答数の割合です。(12/9現在 児童数132名)  
ご回答にご協力いただき、誠にありがとうございました。

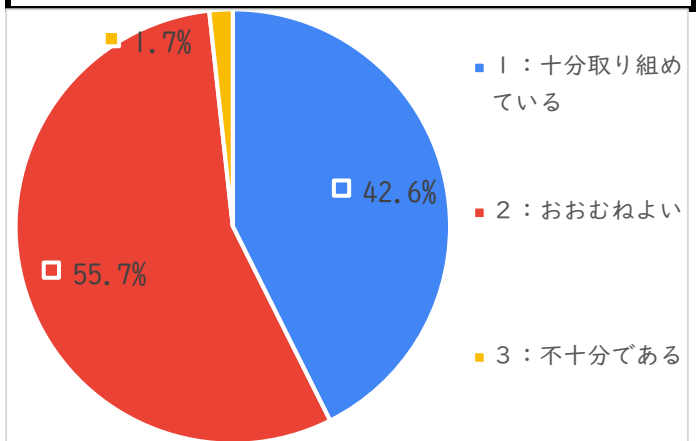
2、集計結果

(1) 学校の取組について

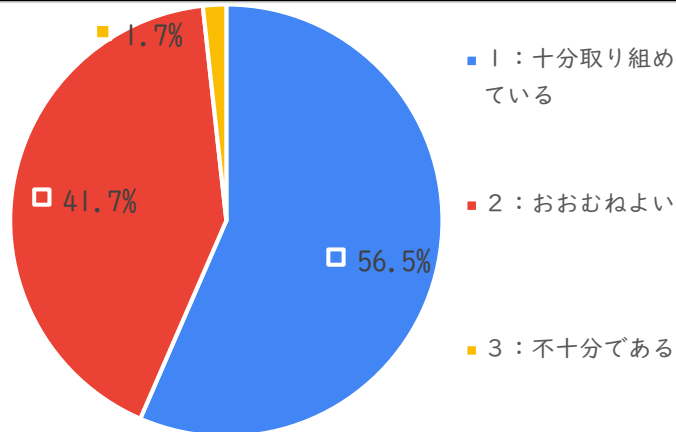
1. 登別小学校は、『共生』（すべての子どもが）、『協働』（楽しく学び合い）、『表現』（わかる・できるを実感し）、『継続』（自ら学びを積み重ねていく）をキーワードに、子どもたちがお互いを高め合える授業を目指しています。お子さんの状況に近いのは、どれでしょうか。



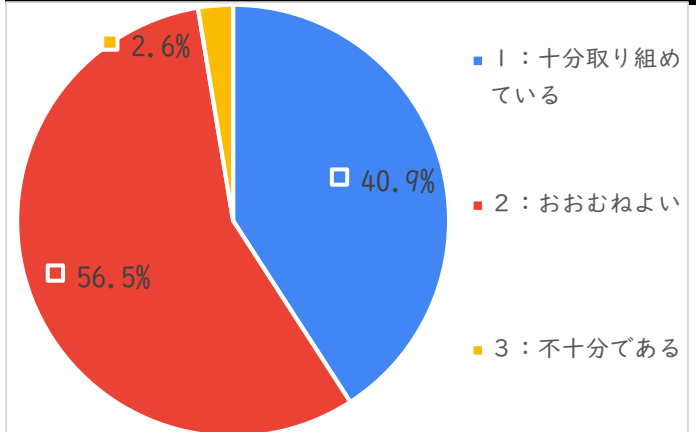
2. 登別小学校では、「心豊かで自他の違いを認め合える学級づくり」を目指し、道徳教育や読書活動、学級活動、日常の学級経営などに取り組んでいます。この取組について、どう思われますか。



3. 登別小学校では、「たくましく生きるための健康や体力づくり」のため、アウトメディアチャレンジ、とんぼタイム、体育コーディネーター（外部講師）、歯みがき指導などを行っています。この取組について、どう思われますか。

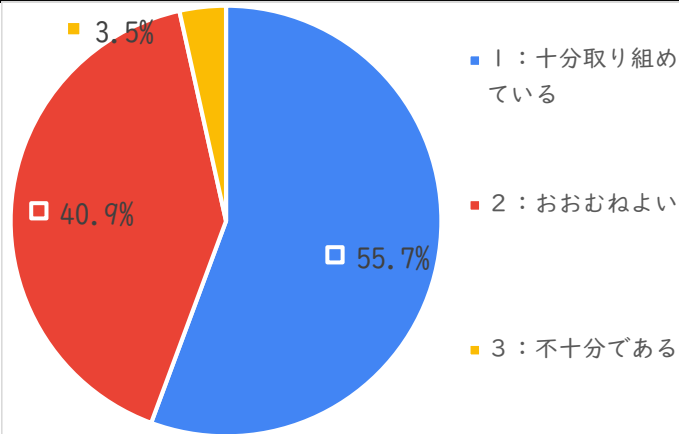


4. 登別小学校では、いじめ防止基本方針に基づいて、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組んでいます。この取組について、どう思われますか。

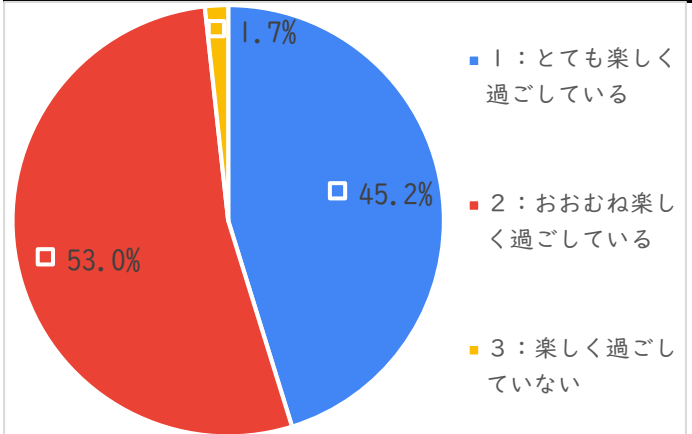


本校の教育目標である、よく考える子(知)・体をきたえる子(体)・仲良く助け合う子(徳)・がんばりぬく子(意)のそれぞれの面で、概ねよく取り組んでいるという評価をいただきました。経年で結果を比較すると、学習面では、お子さんの生活習慣改善が必要とお感じになっている回答が増えて(約5%増)ありました(学習理解の肯定回答値は前期比5%程度低下)。「学習の理解」については、今後とも、きめ細やかな指導・支援に努めてまいります。ご家庭でも、家庭学習のご励ましの声、協力をお願いいたします。あわせて、規則正しい生活習慣の維持・改善にも、引き続き力をいれてくだされば幸いです。4.の質問については、すべてのお子さんが安全・安心な学校生活を送ることができるよう、今後とも、いじめの予防的指導、積極的認知、早期発見・早期解決に努めてまいります。お子さんの様子で気になることがございましたら、いつでもご連絡ください。

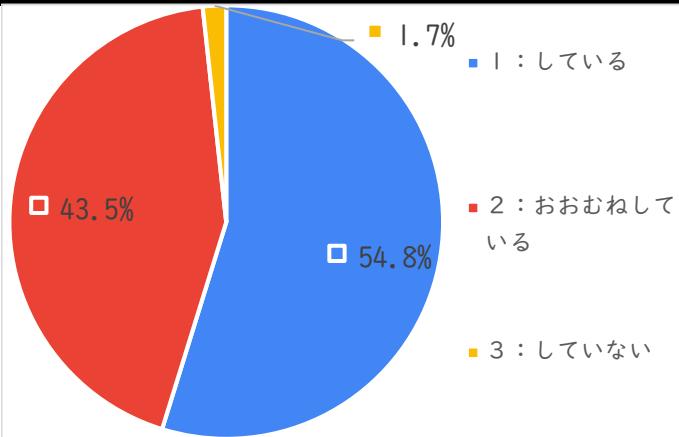
5. 登別小学校では、学校だよりや学年通信、ホームページ、YouTube、さくら連絡網によるメール配信などにより、情報をご家庭に伝えています。この取組について、どう思われますか。



6. お子さんは、学校生活を楽しく過ごしていると思いますか。



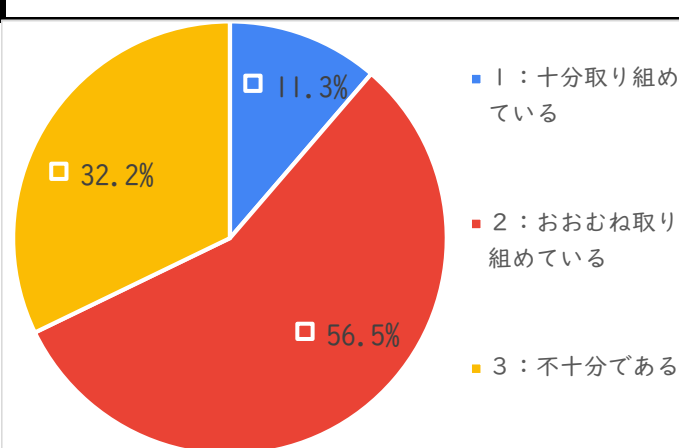
7. 担任は、必要に応じ、お子さんの話を聞いたり、相談にのったりしていますか。



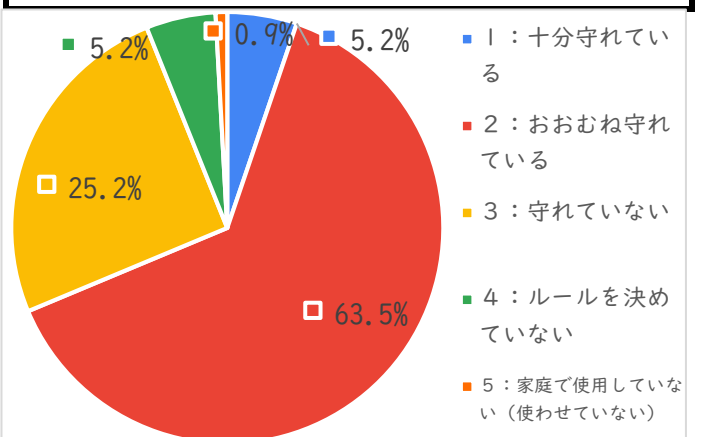
5. の学校からの情報発信については、「(概ね)十分である」旨の回答を多くいただいておりますが、肯定回答値は約2%程度低下いたしました。今後も、丁寧かつスピーディな情報発信・情報共有に努めてまいります。ご家庭でも、お子さまや学級についてご心配・気になることがございましたら、その都度、気兼ねなくご連絡ください。また、さくら連絡網・紙面での連絡以外でも、時折本校のホームページもご覧いただければ幸いです。6. 子どもたちの学校生活 と、7. 各種教育相談の取組 については、大きな数値の変動はありませんでした。ただ、約2%のご家庭が、お子さんが学校で楽しく過ごしていない、または、学校はお子さんの話を聞いたり相談にのったりしていない。と感じていらっしゃる事実は、大変重たいものです。お子さんが楽しく学校に通えること、困ったことは、先生にきちんと相談できることは、学習の理解や健やかな成長もさることながら、保護者様にとっての大切な願いの一つと存じます。今後も学校は、6月上旬、11月中旬の教育相談期間以外にも、オンライン教育相談や、朝の健康観察など、いつでもきめ細やかな観察と、お子さんごとの悩みに応じた対応に努めます。4. のいじめに関する対応も含め、今後も何かございましたら、お気軽に学校や担任までご相談ください。また、本校には、約2週間に1回の木曜日午前中、スクールカウンセラーが来校しますので、こちらのご活用や、定期的にさくら連絡網でお知らせしている各種相談窓口のご活用もご検討ください。

## (2) 家庭での様子について

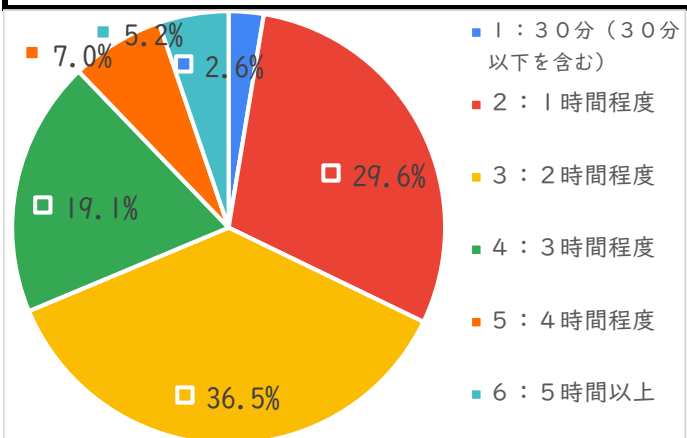
8. お子さんは、学年に応じた時間(学年×10分以上 ※4年生 4×10=40分以上)、家庭での学習に取り組んでいますか。



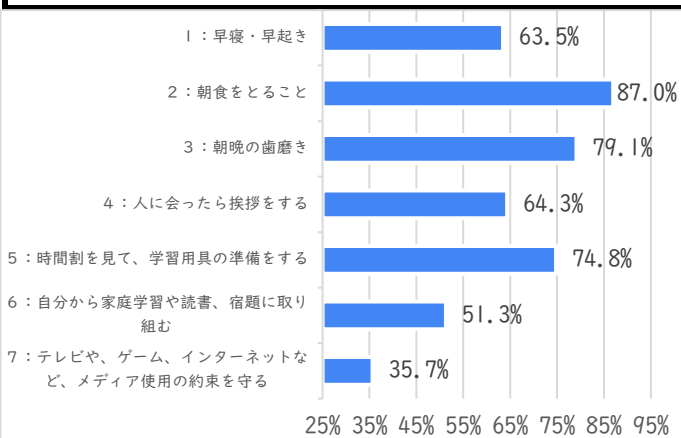
9. お子さんは、スマートフォンやタブレット機器、ゲームなど電子メディアの使用時間、SNSの使い方について、ご家庭での約束を守れていますか。



10. お子さんが家でゲームやスマートフォン(タブレット)、テレビ、インターネット、メール、SNSなど電子メディアに触れている時間はどれくらいですか。



11. 現在、お子さんに身に付いていると思う生活習慣はどれですか。あてはまるものを全て選んでください。



8. 家庭学習については、十分、またはおおむね取り組んでいると感じている保護者が、全体の約68%となりました。これは、前回のアンケートから11%の低下です。9. 電子メディア使用の約束についても、前回と比較して、ルールを守れていないと感じるご家庭が、約5%増加しました。児童アンケートと比較すると、例えば『電子メディア使用の約束』については、約95%の児童が、「家での約束を守れている」と感じており、「約26%程度の意識の違い」が見て取れます(保護者の方が厳しい視点)。さらに、お子さんに身に付いている生活習慣に、「メディア使用の約束を守る」と回答した保護者は全体の約36%でした。また、児童アンケートでの、『家庭学習の時間に関する質問』では、学年×10分以上学習していると回答した児童の割合は全体の「74.8%」、で、今回のアンケートでは、児童と保護者様の間で、約7%程度の意識・認識の違い(保護者の方が厳しい視点)が感じられました。10. のメディアに触れている時間については、学校で子どもたちに話している一日2時間以内となっているのは、約68.7%という回答でした。児童アンケートと比較すると、2時間以内と感じている児童は約67.9%でした。(意識の差は大きくない。)逆に、電子メディアにやや触れ過ぎと感じる、4時間以上と感じている保護者様は12.2%、児童は18.3%という結果でした。もしかしたら、保護者様が知らない時間帯にメディアに触れている、ということもあるのかもしれません。「休憩時間と集中時間の境目がはっきりしない勉強のしかたになっている(なんかダラダラ、テレビ・ネットのつけっぱなし等)」「気付いたらゲーム・スマホいじり」「家庭学習はしているが、「～しながら」の時間が長い」という状況は、各ご家庭にないですか? 改めて、ご家庭でも、勉強については「時間」「取り組み方」「内容」について、電子メディア接続については、「ルールを守っているか」「だらだらとしてケジメがない、ということがないか」「危険なサイトに繋いでいないか」など、ご確認、ご指導いただければと思います。

最後に、子どもたちに身に付いていると感じる生活習慣については、「学習用具の準備」と、「メディア使用の約束」についてが大きく改善。それ以外の項目は概ね横ばいの結果となりました。全体をみると、やはり、「メディア使用の約束を守る」項目、また、「自発的には家庭学習、宿題、読書に取り組む」項目の肯定回答値の低さが目立ちますが、この点については、学校での声掛けだけでなく、どうしてもご家庭でのルールの設定、声掛け、継続した励ましが必要です。何卒、ご協力をお願い申し上げます。

宿題以外の学習、いわゆる「家庭学習」にどう取り組むか、何を取り組むかは、保護者様にとっても頭を悩ませる問題と思いますが、「ノート」「ドリル」「読書(教科書や、自分の好きな物語等…)」「家事手伝い(家庭科)」「調べ学習(タブレットをつかって)」「予習」「復習(解き直し)」「リコーダー・歌の練習」「テスト前勉強」など、やること、やれることは、たくさんあります。都度お子さんと話し合いながら、励ましの声をかけていただければと思います。なお、毎週の時間割の下段に、学年によってはおすすめの家学習を記載しております。そちらもご参考にしてください。今後とも、家庭学習の「時間」「内容」「取り組み方」については、中学校進学までに、お子さんの様子を十分に見取り、褒め・励まししながら、学習習慣の定着を目指していくとよいですね。家庭学習の実際の取組とあわせ、毎日の家庭学習チェックシート(タブレット端末)の時間・内容等の入力や、週末の「めあて・振り返りの入力」については、保護者様も一緒にタブレット端末の確認をぜひお願いいたします。(毎日の家庭学習の最後の5分をチェックシートの入力と、確認にあてるとGood! 日曜日の家庭学習の前に「めあて」の入力。土曜日の家庭学習の後に「ふりかえり」の入力を習慣化しましょう!)

### (3) 自由記述欄から

※ 担任や児童の個人名、クラスが特定される文については、一部修正しておりますことをご了承ください。この場合、修正は最小限にとどめ、赤字にしております。それ以外については、基本いただいた原文のまま掲載いたします。なお、個別のご心配、お悩みについては、学校や担任から直接保護者様にご回答・ご連絡を差し上げるなど、ご対応させていただきますので、一部、自由記述欄に掲載していないケースがございます。何卒、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

◆ 参観日を見ていて(○年生の時よりも)あまりにも子供達が自由に発言していて先生がとても大変そうに見えました。参観日だから普段よりも静かだったと聞きましたが正直見ている真面目にやっている子達の授業の妨げになっていると思います。色々な子がいて多様性とか言われていますが正直ちょっと迷惑に感じたのと担任の先生だけではとても大変だろうと思いました。

→ 貴重なご意見に対し、心よりお礼申し上げますとともに、ご心配をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。ご指摘の通り、子どもたちの多様性を尊重することは、これからの時代、大切なことと存じますが、どの学級においても、話すときと聞くときのけじめについては、日々指導を重ねているところでございます。学級やお子さんの様子について、お気付きの点、ご心配な点がございましたら、いつでも学校までご連絡いただければと存じます。

◆ 学級通信、時間割を持って帰ってこない事もあるため、さくら連絡網で流してほしいと個人懇談でお話ししましたが、個人情報の関係があるので話し合います。と言われてから音沙汰がないので駄目だったのかと思っていました。このアンケート中の情報を伝えるところに、学級通信も入っていた為、意見を書かせてもらいました。兄の時は良かった事が、今は駄目という事もある為、現在駄目な事をマニュアル化してくれると助かります。

→ 貴重なご意見、誠にありがとうございます。学級通信や、時間割について、学級で配付する方法に統一性がないことに対するご意見とお受け止めしました。同様のご意見を、前回の学校評価でも賜り、その際にもご回答申し上げましたが、現在、タイムリーに保護者様にご確認いただきたいプリントを配付する際、お子様がお休みされた場合、また、学級の実態・プリントの内容によって、紙面とさくら連絡網とを併せて、また、毎日自宅端末のclassroomを確認することが決まっている学級では、お子さんの学級のclassroomに・・・など、様々な方法で、保護者様の情報提供、また、情報共有を図っているところでございますが、一つの情報提供に対して、さまざまな手段で並行して発信することは、発信の主体となる特に担任にとって、一定程度の手間と時間がかかることを十分にご理解いただければと存じます。学校としましては、お子さんが、担任から受け取ったプリント(テストや学習プリントを含む)を、確実に帰宅後、保護者に見せる、渡すことも、大切な力の一つと考えておりますことから、今後も、お子様がプリントをなくさないように、また、確実に、保護者様にお渡すように、低学年のうちから、継続的に指導してまいります。ご家庭でも引き続き、毎日ランドセルや連絡帳の袋(お子さんによっては、都度指導・声掛けしておりますが、ランドセルの中で、ぐちゃぐちゃになっていることもあります。)を、ご確認いただくなど、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、過日全保護者様にお伝えしましたとおり、「時間割」につきましては、児童に対しては紙面配付を継続し、2週分の時間割を毎週金曜日(ないし木曜日)に、本校HPにアップロードする取組を開始しております。もし、お子さんが家庭において時間割を紛失した場合は、学校のホームページをご確認いただければと存じます。あわせて、同連絡でお知らせしました通り、中段の理由から、学級通信につきましては、基本的に『紙面配付として統一』し、配付日に欠席した場合などにおいて、さくら連絡網を併用する形を今年度は継続させていただきます。また、こちらにつきましても、より効率的・効果的な情報提供・情報共有の手段として、引き続き校内でも協議・検討をしております。その際、プリントの内容によっては、『学級通信や連絡は、さくら連絡網のみの電子配付とし、印刷配付しない。』という判断についてもあわせて検討してまいります。何卒、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

◆ 発表会の保護者席ですが、椅子を前後交互にいただけたら皆が見やすいのでは。と思いました。生徒席も可能であれば椅子ではなく、ござだと椅子の移動の手間もなくなるし、保護者も見やすいのでは?とおもいました。あとは毎回ですが一般常識を分らない保護者もいることにガッカリです。自分だけ良ければ良い、自分の事しか考えていない保護者もいるなとつくづく思いました。

→ 貴重なご意見、誠にありがとうございます。学習発表会につきましては、今年度より、児童にも直接の鑑賞の機会を、ということで、今年度のような対応とさせていただきます。(コロナ禍の際は児童の鑑賞はなし。それ以前は、児童公開を設定しておりました。)次年度以降も、安定的な授業時数確保観点から、児童公開を別日に設定することはせず、今年度のような対応と考えておりますが、頂戴したご意見を含め、次年度に向けて、児童も保護者も、より観覧しやすい座席配置や実施方法を検討して参りたいと存じます。

◆ 宿題は自ら取り組みますが、家庭学習は声をかけてから取り組むことの方が多いです。

→ 貴重なご意見、誠にありがとうございます。宿題や家庭学習の取組については、学校でも、毎日、こつこつと、決まった時間に、学習時間と内容を考えて、目標(めあて)をもって、など、継続して指導してまいります。引き続き、ご家庭でも、お子様に対し励ましのお声がけをいただきますよう、お願い申し上げます。

あわせて、家庭学習に取り組んだら、その流れでオンライン家庭学習チェックシートへの入力も速やかに行うこと、毎週のめあてと振り返りをしっかりと行い、入力することについても、引き続きのお声がけや見守り、確認(入力の補助)のご協力を頂きますよう、お願い申し上げます。(学年×10分間の家庭学習のうち、最後の数分間をチェックシートへの入力に充てるとよろしいかと存じます。)

◆ これから冬場に入るので、子ども達には歩道の歩き方の指導をお願いしたいです。

歩道の除雪がされていないと、道路へ飛び出す可能性もあるので...。  
札内へ上がる大型車が多いなと感じたので。

→ 貴重なご意見、誠にありがとうございます。こちらにつきましては、児童への機を見た指導はもちろんのこと、登下校の見守りについては校区町内会、通学路の除雪や道路状況の管理や安全対策については市役所・教育委員会、警察にも情報提供、改善依頼を行っているところです。学校でも引き続き、子どもたちの大切な命と安全を守るため、指導を継続してまいります。ご家庭でも、それぞれのお子さまに対し、冬期間の歩道の歩き方、一時停止、信号の遵守、左右の確認などについて、あらためてお声がけをいただきますよう、お願い申し上げます。

◆ 学級通信など、日付・曜日などの間違いが多い。

学校を休んでいる時に伝えられたことが、休んでいた子には伝わっていない。  
休んでいた時に授業が進んでしまい、そのフォローがあまりない。  
子供の状況を聞かずに注意されてしまうことがある。

→ 貴重なご意見に対し、心よりお礼申し上げますとともに、ご心配をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。正しい情報発信、欠席したお子さんに対するフォローアップ含め、教職員一同、あらためて襟を正して指導・支援を行ってまいります。お子さんの状況や、お困りのこと、また、通信等小さな誤りでもお気づき、ご心配の点がございましたら、いつでも学校までご連絡を頂ければ幸いです。

◆ ・毎日の宿題がタブレットになってから保護者が宿題の見直し確認ができないのが困ります。

・タブレットの宿題の何時までに配信する等、時間を決めてほしいです。宿題と家庭学習を終えてから遊びに行くこと約束しているの(各家庭のルール等あると思いますが)出来ることなら帰宅時には宿題を配信していただきたいです。

→ 貴重なご意見、誠にありがとうございます。2点に分けてご回答申し上げます。

①タブレット端末での宿題の見直しについてですが、アプリケーションの特性上、お子さんの『誤り方の詳細』や『解き方の詳細』までを確認することは困難ですが、『取り組んだかどうか』『何回取り組んだか』『全問合っていたか』『やり切っているか』については、確認することが可能です。以下をご確認ください。

※スマイルネクストドリルの、課題(紙飛行機のアイコン)をクリックすると、本日現在までに学校側から配信された課題の一覧が出ます。(過去の課題まで確認できますので、お子さんが過去にわたってきちんとやっているかどうか、確認してみるとよいかと存じます。)

※確認したい課題を選んでいただくと、課題の横に、

① 緑色のチェックマークがついている課題、または、② 右側のチェックボックスがオレンジ色の2重☆ になっている場合は、全問正解(もしくは間違えを直して全部正解)し、終了しています。

③ 黄色の一つ星の場合、または、④ 緑色のチェックマークがついていない場合は、『間違えている問題を、解き直していなかったり、解答が中途半端になっている場合』があります。

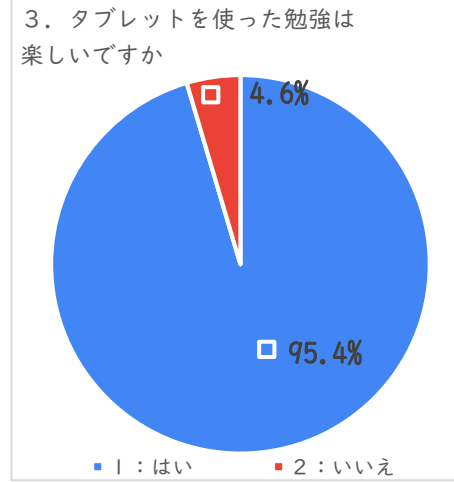
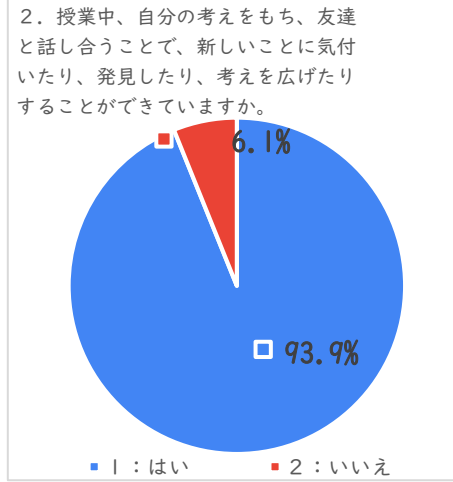
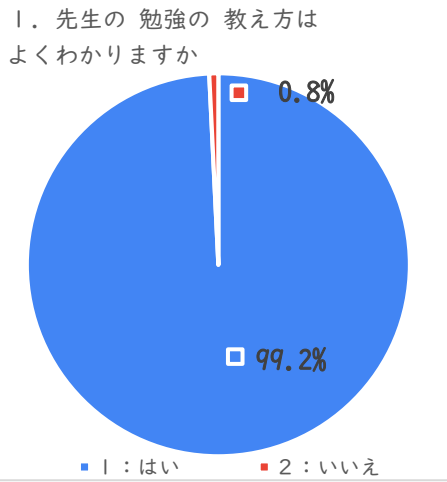
⑤ 空白のままの場合は、そもそも解いていない。ということになります。

(例1 5/15と出ている場合は、15問中5問正解している、10問やり直していない。ということです。)

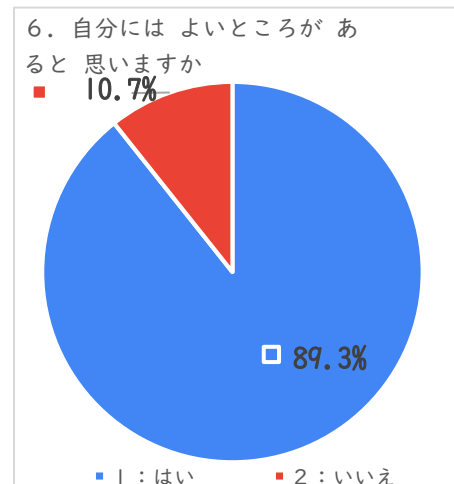
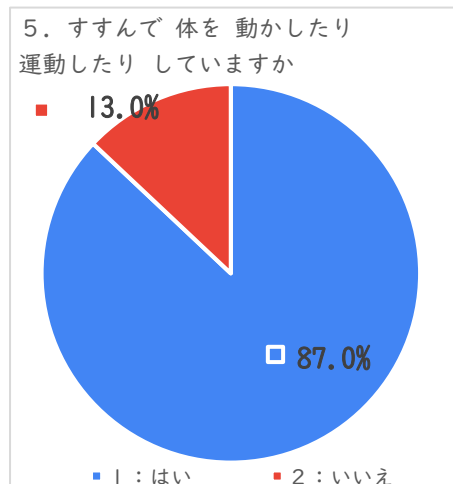
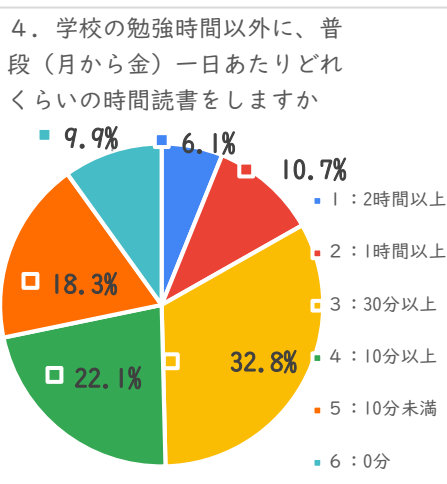
(例2 チェックボックス3つのうち、1つ目がオレンジ2重☆、2つ目が黄色一つ星、3つ目が空白の場合は、お子さんが、ステップ1を全問正解させ、ステップ2を中途半端な状態、もしくは解き直しをしない状態にし、ステップ3には取組んでいない。ことを表しています。)

→ ②スマイルネクストドリルについては、課題配信の特性上、遊びに行く前に、ご飯を食べる前に、寝る前になど、宿題や家庭学習に取り組む時間の約束事は、各ご家庭ごとに設定していただいていることと存じます。お子さんが帰宅前に配信を終えていないことがあることについては、大変申し訳ございませんでした。ご意見頂戴後、あらためて各学年の端末での配信時間について、児童下校までには配信を終えておきましょう、共通理解を図ったところです。引き続き、宿題配信に関する事で、何か気がかりなことがございましたら、いつでも学校までご連絡ください。

# 児童アンケート



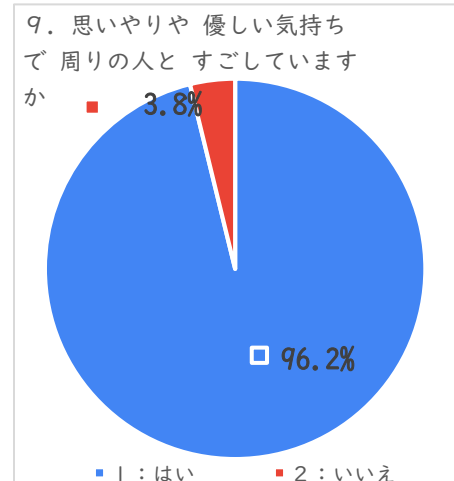
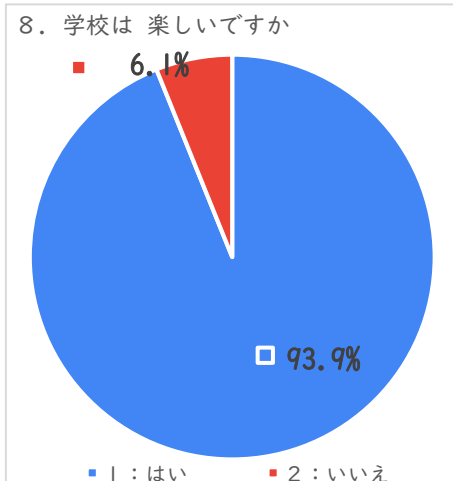
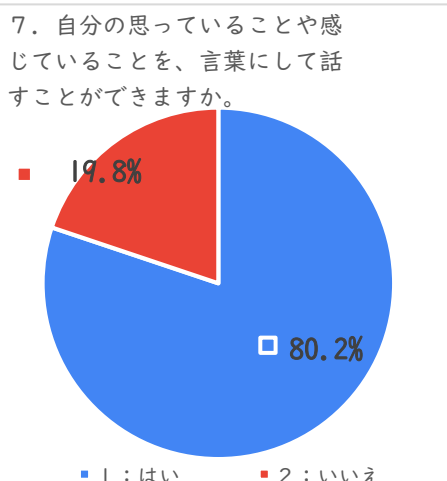
1. 勉強の教え方、2. 学習中の友達等との「対話」、3. タブレットを使用した勉強については、前回のアンケートと、ほぼ数値の変動はありませんでした(1・2が微増、3が微減)。今後も、**教師自身の「教え方」の改善だけでなく、ときには子供たち同士で協働して、ときには自分一人で、など、様々な方法で、「よりよく学びを深め、広げられる」よう、授業改善を進めてまいります。**



4. の読書時間については、0分の子が全体の約9.9%と、前回から、約4%改善しました。引き続き、一日短時間でも、また、**家庭学習でじっくり本を読むなど、取組のご協力をお願い申し上げます。アウトメディア読書デーの取組(月2回第1・3水曜日)に合わせ、メディアに触れずに、親子で本に親しむ時間をとるのも一つの方法です。お子さんに学習や読書を勧める傍らで、「家族がスマホに触っている。テレビを見ている。」ということがありますと、お子さんの学習や読書の習慣付けには一定程度の妨げになりますので、引き続き、本に親しむ機会を増やすご協力をいただければ幸いです。**

5. の運動に関する質問については、今回約5.5%の低下が認められました。寒さが本格化すると、北海道の子どもは外での運動の機会が減っていくことが多いです。体育の学習はもちろんのこと、休み時間や放課後にも、たくさん運動に親しめるよう、声掛けを続けてまいります。月に1回ではありますが、「うんどう広場」もぜひご活用ください。

6. の自己肯定感に関する回答は、約5.7%の改善が認められたものの、約1割のお子さんが、「自分にはよいところがない」と感じていることが気になります。自分のことを大切にできること、認められること、は、これからの長い人生を生きていく子供たちにとって、とても大切なことです。今後とも、ご家庭でもお子さんが、**『大切に、かけがえのない存在である』**ことを、折に触れて話題にしてください。



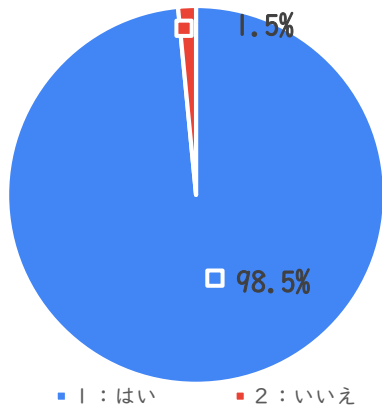
7. 8.の質問は、それぞれ、約4%程度の改善、9.の質問は、ほぼ数値の変動がありませんでした。

改善したとはいえ、7.の質問では、約20%の子供たちが、自分の思いや考えを、言葉にして話すことを苦手に行っていることが分かります。先ほどの2.の質問とも関連しますが、『**自分の考えを、きちんと伝える。**』『**相手に分かるように伝える**』など「**相手意識**」をもって話したり書いたり、時には聞いたり、受け止めたりできる子供たちを、ご家庭と協力して育てていきたいと思えます。学校でも、他者と対話的に学ぶ場面を意図的に設定してまいります。(この力は、SNSなどによって、直接的なコミュニケーションが減少してきている現代だからこそ、重要な力です。)

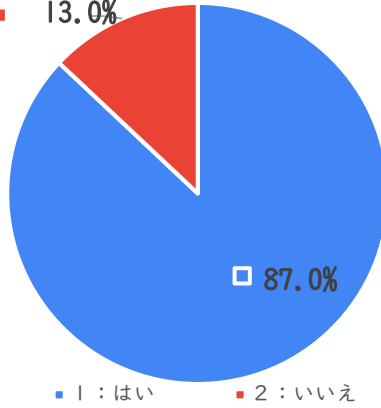
8.の質問も、やや改善傾向にあるとはいえ、決して満足はできません。全員が楽しい。と自信をもって回答できる学校を引き続き目指して参りたいと存じます。子供たちが、『**学校を楽しいと感じる要素**』は、その子によって当然ばらつきがあります。ただ、一般的に学校を楽しいと感じる、以下の大きな3要素『**学習(その日の教科の内容、理解度)**』、『**人間関係(大人・子供含めた)**』、『**生活リズム(十分な睡眠・食事)**』については、学校単独の改善だけでは十分とはなりません。引き続き、保護者様のご協力をお願い申し上げます。

9.の質問は、当然のことながら、学校ではどのお子さんにも、『**大切な思いやりの芽、思いやりの心**』があるものとして、指導・支援しております。その芽が、日常の教育活動で、様々な友達や、上級生・下級生とのかかわりで、しっかりと表現(言動)できるよう、引き続き指導・支援してまいります。**ご家庭でも、お子様が保護者様の背中を見て、思いやりの気持ちの芽を大きくすることができますよう、引き続きのご協力をお願い申し上げます。**

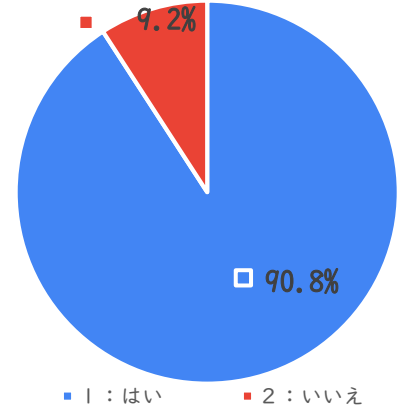
10. 困ったときに先生は話を聞いてくれますか



11. 早寝 早起きなど 規則正しい生活を心がけていますか



12. 朝ご飯を毎日食べていますか



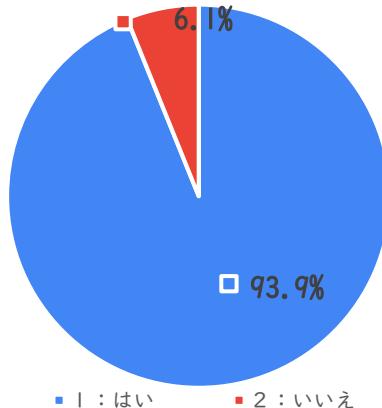
10. 11.の質問はやや改善。12. 13.の質問に関しては、ほぼ数値の変化はありませんでした。

10.の質問に関しましては、保護者アンケートの7.とも関連いたしますが、今後も子どもたちの困り感を、つぶさにキャッチし、様々な方法で適切に対応できるよう、努めてまいります。

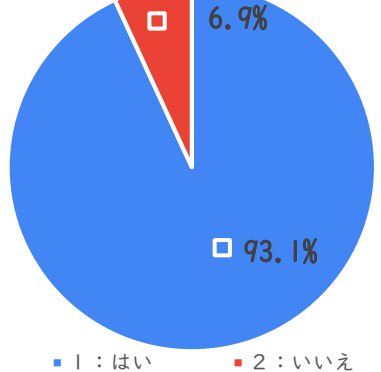
11. 12. 13.については、それぞれ、毎日の生活と、健康を支える大切な習慣です。**早寝・早起き(質の良い睡眠をとること)、朝食をとること、歯磨き(毎日磨くこと)については、引き続き、ご家庭のご協力をお願いいたします。**

14.の挨拶に関する質問は、ほぼ変動がありませんでした。地域の方からの声を聞くと、挨拶をしっかりすることができる子が多い、とお褒めの言葉をいただくことが多いですが、保護者アンケートでは、身に付いていない、と感じる保護者様が約35%。(これは、前期とほぼ変動なし。)'挨拶されたら返すけど、自分からは・・・'という感じなのかもしれません。これは、学校でも、同様の傾向が感じられることが多いです。(教師から挨拶されれば挨拶するけど、自分からはしない。というお子さんは割と多いです。)'子供が、『**進んで**』挨拶する。』という状況になるのは、日常的な習慣や、周りの環境によるところも大きいです。親御さんが、お子さんと一緒にお出かけしているときなど、**まずは『大人が』進んで挨拶すること、その時に一緒に挨拶することで、お子さんにも、それが自然なものとして身に付いていく一面もあります。**(これは、本当に小さいうちからとも言われています。)学校でも、まずは教師が率先して挨拶、をこれからも大切にしていきます。

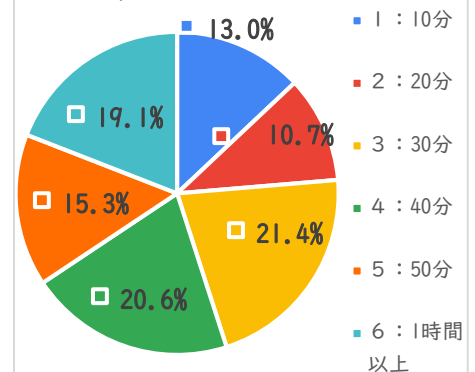
13. 朝と寝る前の歯みがきをきちんとしていますか



14. 先生や地域の人など、会った人にきちんとあいさつしていますか

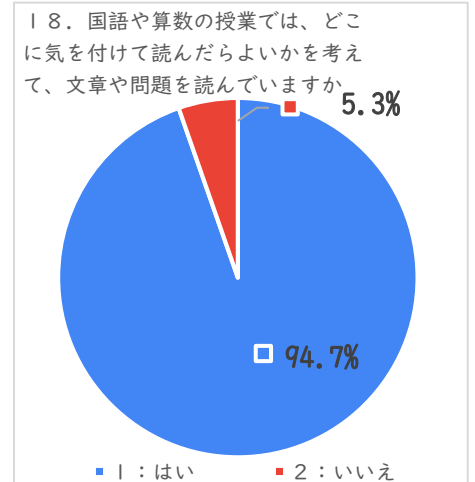
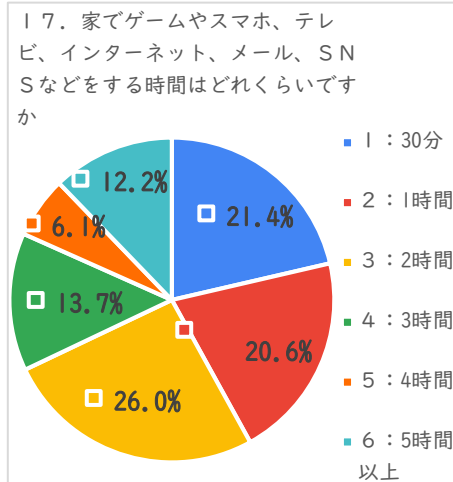
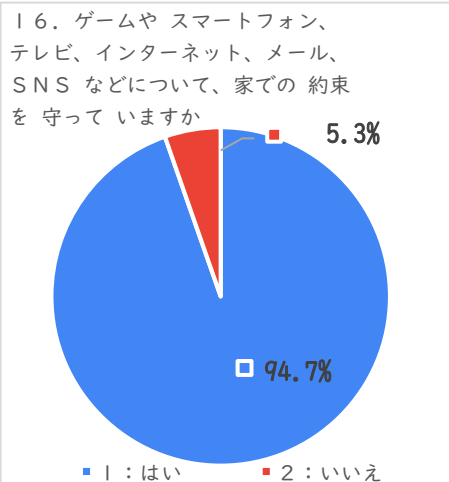


15. 家でどのくらい勉強をしていますか(月曜日から金曜日について)

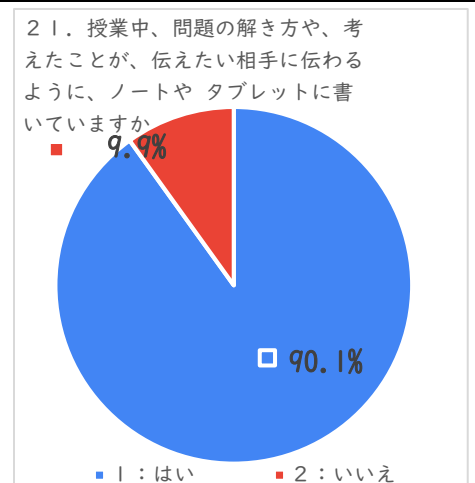
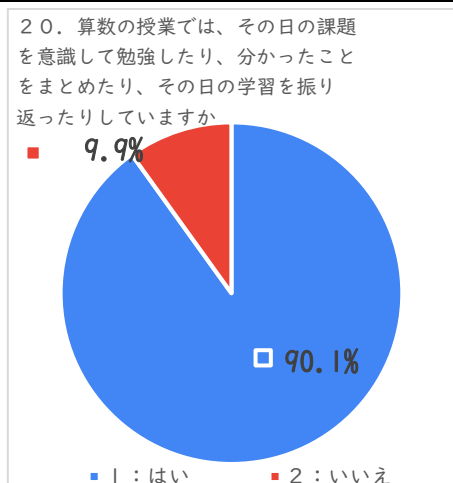
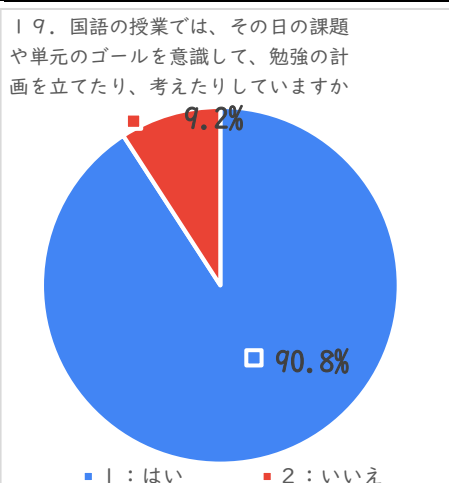


15. の学習時間については、保護者アンケート考察にも記載しましたとおり、家庭学習は、**時間と同様に、どんなことに取り組むか、どんな風に取り組むか、学習時には短時間でも『集中しているか』**がとても大切です。

お子さんの学習の望ましい習慣付けのために大切なのは『学校から「やりなさい」といわれている。からやる。』『出さない先生から「叱られる」からやる。』『休み時間をつぶして勉強しないといけなくなるからやる。』などのいわゆる『賞罰感覚』から、「自分で必要だから、興味があるから、習慣だから」やる。に切り替わっていくことです。(毎日何かしら勉強しないと気持ちが悪い。というくらい、歯磨きや入浴等に近い感覚になれば最高ですね。)そして、そのためには、『家庭の力』が絶対が必要です。入学選抜試験等、超えるべき分かりやすい人生のハードルがない小学生にとっては、なおさらです。また、これは、中学生(高校生)になってから突然に身に付くものでもありません。学校では、タブレット端末を活用した家庭学習チェックシート、週1回の家庭学習提出日の提出により、お子さんの頑張りを認め・励ます指導を継続してまいります。繰り返しのお願いにはなりますが、**ご家庭では、週末のタブレットでの『めあてや振り返りの記入、毎日の時間や内容の確認』、なにより、『毎日の励ましや、認め・ほめる言葉』を忘れずに、お子さんの主体的な学びの力を育てていけるよう、共に手を取りあって頑張ってください。**



16. 電子メディアを使用する際に、家での約束を守っているかどうかの質問は約4%の改善です。時間で見ると、**1日2時間程度以内に収まっているのは、全体の68%で、決してよい結果とは言えません。(目標は2時間!)** 1日3時間以上メディアにふれている児童の割合は、同一調査開始時の約3年前(R2後期)が26.1%で、(前回)33.5%→(今回)32.0%と、**電子メディア依存度の強いお子さんが増えていることがわかります。また、毎日『5時間以上』電子メディアに触れていると回答した児童が、全体の12%近くいることも、決して見過ごせません。** アウトメディア読書デーの取組は、学校での啓発・指導の意味で行っているものですが、**「その実践の場は家庭」です。全市の小学校456年生・中学校で行ったアンケートでは、本校の児童は他校に比べ、自分のスマートフォンやタブレットを買い与えられている割合が高く、使用時間も長い。という実態もわかっております。** あらためてお子さんと「一日の使用時間の約束」「使い方の約束」を確認いただき、特にスマホやSNS、インターネット接続の際は、トラブルに巻き込まれない・トラブルを生まないネットモラルやマナーについても、ご指導のご協力をお願いいたします。



18. の質問では、約5%のお子さんが、教科書の文章や、問題文を読んだときに、気を付けるべきポイント(数字、中心となる言葉など)を意識していない、もしくは、理解していないことがわかります(前回比10%改善)。これは、家庭学習で、国語の読解問題や算数の文章題を解くときにも、とても大切なことです。また、19. 20. の質問(それぞれ、2~4%改善)では、約1割のお子さんが、その日、その単元の課題意識、その日の学習の振り返り(理解できたことや分からなかったことなどの整理等)が、未だ十分でないことがわかります。同様に、21. の質問で、日常的なノートやタブレットの学習での使い方でも、相手意識をもって学習することに未だ難しさを感じているお子さんが一定数いることもわかりました。(前回比5%改善)

学校では、引き続き、子どもたちが、授業中に、課題意識・目的意識をしっかりとって主体的に取り組めるような工夫、また、その日、自分が何を身に付けて、何が課題だったのかを振り返る工夫、そして、相手意識をもって、ノートやタブレットを活用しながら他者と学び合える活動の工夫など、授業改善を続けてまいります。

保護者の皆様、お忙しい中にもかかわらず、アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。引き続き、本校の教育活動に対し、ご理解・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。